

ディーパーヴァリー・カ・ウツサヴ

ディーパーヴァリーの祝祭

シュブ・ディーパーヴァリー

祝祭の初日、ゴーヴァトサ・ドゥワダシーには、神聖な純粋性、善良さ、豊穡(ほうじょう)、持続を象徴するものとして、ウシと子ウシが崇拝されます。

2日目、ダンテーラスには、家長が女神ラクシュミーと富の神クベーラにプージャーをささげ、豊かな生活を祈ります。

3日目、ナラク・チャトゥルダシーには、クリシュナ神が悪魔ナラカスラに勝利したことを祝います。

4日目、ディーパーヴァリーは、ラーマ神が彼の王国アヨーディヤーに凱旋(がいせん)したことを祝います。彼を歓迎するために、アヨーディヤーの人々は、王が歩く道を照らすよう、土製のランプ——ディヤ——を延々と並べてともしました。

祝祭の最終日、バリ・プラティパダー、すなわち新年は、バリ王がヴィシュヌ神に無欲で降伏したことをたたえます。新年は、友情を新たにし、贈り物やお菓子を交換することによって祝います。

シュブ・ディーパーヴァリー
サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。